

# 埋金浄水場排水池連絡管及び返送管布設工事特記仕様書

## 1. 総 則

### 1 適用範囲

この仕様書は、「埋金浄水場排水池連絡管及び返送管布設工事」に適用する。

この仕様書、設計図、設計書に記載のない事項については、工事共通仕様書に定めるものとし、その他は監督員との打合せにより決定する。

### 2 法令、関係規定の遵守

請負者は工事の施工にあたり諸法令並びに関連規格に従うこと。

### 3 提出書類

契約事項に関する書類他、次の書類を提出すること。

- 1) 着手届
- 2) 現場代理人・技術者届
- 3) 工程表（計画・実施）
- 4) 下請負届出書
- 5) 工事打合簿
- 6) 工事日報
- 7) 工事写真（新旧材料、着手前完成、作業状況等）
- 8) 使用材料の品質証明、ミルシート等
- 9) その他必要とする書類
- 10) 完成届

### 4 疑義

設計書に定める事項について疑義を生じた場合は、監督員の指示に従わなければならない。

### 5 機械器具及び工事用材料の管理

工事に使用する各種材料及び機械器具は、工程表に従い、工事の進捗に支障のないよう手配すると共に、品質及び保管管理等は請負者において行うものとする。

工事現場が隣接する場合、または同一場所において施工する別途工事のある場合は常に相互に協調して支障のきたさないように処置しなければならない。

### 7 事前調査

請負者は、工事着手に先立ち、現場の状況、運転状況、関連工事等について綿密に調査を行い、実状を把握し、監督員と協議の上工事を施工しなければならない。

## 8 修繕用地

無償貸与以外の民有地等を利用する場合は、すべて請負者の負担と責任において行うものとする。

## 9 障害物件

工事期間中、障害物件の取扱については、監督員の指示に従わなければならない。

## 10 衛生管理

(1) 請負者は、水道施設構内又はその付近での作業にあたって、関係法令を遵守し、衛生管理に十分注意すること。

## 11 保証

引渡し後、1 ヶ年以内に請負者の責任に起因する故障が発生した時は、無償で修理又は取替を行わなければならない。但し、天災・地変・不可抗力による事故、又は取扱上の不注意による故障はこの限りではない。

# 2. 設備概要等

## 2-1 全般

本工事は、埋金浄水場排水池の改修工事を行うものであり、関連する機器の製作・改造・据付・配管までを行うものとする。

## 2-2 連絡管布設工事

- ①第1排水池と第2排水池を繋ぐボーリング作業を行う際は、躯体の鉄筋探査を行い、鉄筋に影響がない部分をボーリングすること。
- ②連絡管布設後の躯体補修材は24時間以内に硬化する材料を使用すること。
- ③ボーリングの施工位置については、協議を行った上で決定すること。

# 3. その他

上記以外の疑義が生じた際は、両者協議の上決定すること。